

## 第 2 回羽村市史編さん委員会次第

平成 27 年 2 月 2 日（月）

午前 10 時～

羽村市役所 301・302 会議室

### 1 委員長あいさつ

### 2 議題

(1) 平成 26 年度 事業の進捗状況について

(2) 『羽村市史』の構成と内容について

(3) 『羽村市史』刊行スケジュールについて

(4) 平成 27 年度活動計画について

(5) その他

次回会議予定

平成 27 年 10 月上旬

<配布資料>

第2回羽村市史編さん委員会 次第

席次表

【資料1】 羽村市史編さん事業 平成26年度実績

【資料2】 『羽村市史』の構成と内容(案)

【資料3】 『羽村市史』刊行スケジュール(案)

羽村市史編さんだより「伸びゆくはむら」創刊準備号

# 席次 (301・302会議室)

H27.2.2 第2回羽村市史編さん委員会

市史編さん委員会  
委員長  
第3部会長  
浜田弘明 氏

市史編さん委員会  
副委員長  
教育委員会委員長  
島田哲一郎 氏

ドア

市史編さん委員  
文化財保護審議会会長  
白井裕泰 氏

市史編さん委員  
農業委員会会長  
宮川 修 氏

市史編さん委員  
商工会会長  
増田一仁 氏

市史編さん委員  
町内会連合会長  
伊藤保久 氏

市史編さん委員  
第1部会長  
深澤靖幸 氏

市史編さん委員  
第2部会長  
白井哲哉 氏

市史編さん委員  
第4部会長  
白井正明 氏

市史編さん委員  
第5部会長  
菊池健策 氏

ドア

事務局

傍聴席

## 羽村市史編さん事業

## 平成 26 年度事業実績

## 1 羽村市史編さん本部の開催

## (1) 第 3 回羽村市史編さん本部

○開催日 平成 26 年 5 月 26 日 (月) (特別会議室)

○議題等 羽村市史編さん体制とスケジュールについて

→編さん事業全体の体制の枠組みとスケジュールについて説明⇒承認

…教育委員会の関わり、地域の方々の関わりについて意見交換

広報活動の充実、公文書の活用について意見交換

## (2) 第 4 回羽村市史編さん本部

○開催日 平成 26 年 7 月 31 日 (木) (庁議室)

○議題等 羽村市史編さん委員会委員について

→市史編さん委員会委員の人選について説明⇒承認 (名簿は別掲)

## (3) 第 5 回羽村市史編さん本部 (予定)

○開催日 平成 27 年 2 月 25 日 (水) (庁議室)

○議題等 平成 26 年度事業の進捗状況について

『羽村市史』の構成と内容について

『羽村市史』刊行スケジュールについて

平成 27 年度活動計画について

## 2 羽村市史編さん委員会の開催

## (1) 委嘱状の交付

○交付日 平成 26 年 10 月 3 日 (金)

任 期 平成 26 年 10 月 1 日～平成 28 年 9 月 30 日

区 分	氏 名	備 考
学 識 経 験 者	深 澤 靖 幸	第 1 部会長 府中市郷土の森博物館学芸係長
	白 井 哲 哉	第 2 部会長 筑波大学教授
	◎ 浜 田 弘 明	第 3 部会長 桜美林大学教授
	白 井 正 明	第 4 部会長 首都大学東京准教授
	菊 池 健 策	第 5 部会長 都留文科大学非常勤講師
羽村市教育委員会	○ 島田哲一郎	羽村市教育委員会委員長
羽村市文化財保護審議会	白 井 裕 泰	羽村市文化財保護審議会会長
羽村市農業委員会	宮 川 修	羽村市農業委員会会長
羽村市商工会	増 田 一 仁	羽村市商工会会長
羽村市町内会連合会	伊 藤 保 久	羽村市町内会連合会会長
顧 問	櫻 沢 一 昭	前羽村市文化財保護審議会会長

◎ : 委員長 ○ : 副委員長

(2) 第1回市史編さん委員会

○開催日 平成26年10月3日(金)(特別会議室)

○議題等 委員紹介

委員長及び副委員長の選出⇒委員長：浜田弘明委員 副委員長：島田哲一郎委員

記録の作成及び傍聴等について⇒要点筆記の会議録、原則公開を決定

羽村市史編さん事業について

…委員として事業への関わり方等について質疑応答

『羽村市史』の構成と内容について

⇒現時点での具体的な構成と内容については次回会議で意見交換

各部会の意見等を集約

(3) 第2回市史編さん委員会(予定)

○開催日 平成27年2月2日(月)(301・302会議室)

○議題等 平成26年度事業の進捗状況について

『羽村市史』の構成と内容について

『羽村市史』刊行スケジュールについて

平成27年度活動計画について

3 羽村市議会への報告(予定)

(1) 羽村市議会全員協議会への報告

○日時 平成27年3月19日(木)

○内容 「羽村市史編さん事業について」

- ・事業の目的
- ・編さん体制(市史編さん委員会委員名簿)
- ・『羽村市史』の構成と内容
- ・編さんスケジュール

#### 4 各部会の活動

##### (1) 各部会名簿

	部会長	副部会長	部会員			
第1部会 原始・古代・中世	深澤 靖 幸 府中市郷土の森博物館係長	渋江 芳 浩 あきる野市文化財保護審議会委員				
第2部会 近世	白井 哲 哉 筑波大学教授	橋本 直 子 葛飾区郷土と天文の博物館	児玉 憲 治 早稲田大学大学院	靱 矢 嘉 史 早稲田中学・高等学校教諭	花木 知 子 府中市郷土の森博物館学芸員	
第3部会 近代・現代	浜田 弘 明 桜美林大学教授	栗田 尚 弥 國學院大學講師	沖川 伸 夫 中央大学講師	金子 淳 桜美林大学准教授		
第4部会 自然	白井 正 明 首都大学東京准教授	赤坂 郁 美 専修大学講師	高岡 貞 夫 専修大学教授			
第5部会 民俗	菊池 健 策 都留文科大学講師	山崎 祐 子 学習院女子大学講師	紙谷 威 廣 元東京立正女子短期大学教授	堤 涼 子 フェリス女学院大学講師	樋口 潤 一 武蔵野美術大学講師	松田 香代子 日本大学講師

※第1部会、第3部会、第4部会については、すでに本格的な活動開始済み。第2部会、第5部会については、平成27年度当初より活動開始予定。

##### (2) 専門調査員名簿

氏 名	採用	担 当 部 会
石川 悦 子	H26.4.1	第3部会（第1部会・第5部会サブ）
山本 俊	H26.10.1	第2部会
橘田 勝 徳	H26.11.1	第1部会・第5部会
加藤早百合	H26.11.1	第4部会

(3) 各部会活動内容

	平成 26 年度実績	当面の課題	平成 27 年度に向けた準備
第 1 部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市内巡見 日 時 平成 26 年 11 月 13 日 (木) 場 所 市内周知の埋蔵文化財包蔵地とその周辺、出土遺物収蔵施設 参加者 深澤部会長 渋江副部会長内定者 (事務局：田中・宮沢・石川・橘田)</li> <li>○近隣市巡見 日 時 平成 27 年 1 月 27 日 (火) 場 所 青梅市内三田氏関連遺跡、青梅市郷土博物館 参加者 深澤部会長 渋江副部会長内定者 (事務局：田中・宮沢・橘田)</li> <li>○資料編体裁・内容検討</li> <li>○専門調査員による所在確認・資料整理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○既調査遺跡データ確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市内出土遺物再整理</li> <li>○市内中世資料所在確認・目録化</li> </ul>
第 2 部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○浜田第 3 部会長との協議 平成 26 年 11 月 25 日 (火) →近世と近代の接続部分の取り扱いについての調整 資料編の内容についての調整 市史編さん事業全体に関する意見交換 等</li> <li>○専門調査員による事前整理調査作業 古文書目録の確認・作成 郷土博物館収蔵資料の確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○未確認資料の把握</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○郷土博物館収蔵資料の確認・目録化</li> <li>○目録掲載資料の所在確認</li> <li>○未確認資料の確認・目録化</li> </ul>
第 3 部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○羽村市内巡見 日 時 平成 26 年 10 月 31 日 (金) 場 所 市内近現代遺跡 参加者 浜田部会長 栗田副部会長 金子部会員 沖川部会員 (打合せのみ) (事務局：田中・宮沢・石川)</li> <li>○白井第 2 部会長との協議 平成 26 年 11 月 25 日 (火) →近世と近代の接続部分の取り扱いについての調整 資料編の内容についての調整 市史編さん事業全体に関する意見交換 等</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○写真資料の把握と整理</li> <li>○「羽村」に関する新聞記事の把握と整理</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市役所各課所有写真整理</li> <li>○新聞記事目録の作成</li> <li>○公文書マイクロフィルムの確認</li> <li>○聞き取り調査候補者リストの作成</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>○資料編等体裁・内容検討</li> <li>○近現代の時間軸と内容について意見交換</li> <li>○今後の活動について検討</li> <li>○専門調査員による事前整理調査作業 <ul style="list-style-type: none"> <li>→近現代資料の所在確認・目録作成</li> <li>郷土博物館収蔵資料の確認</li> <li>資料目録等の作成</li> </ul> </li> </ul>		
第4部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○羽村市内巡見 <ul style="list-style-type: none"> <li>日 時 平成26年12月1日(月)</li> <li>場 所 市内崖線・低地・河川等の各地点、小中学校所在地</li> <li>参加者 白井部会長 赤坂副部会長 (事務局：田中・宮沢・加藤)</li> </ul> </li> <li>○白井部会長、赤坂副部会長それぞれによる市内巡見 随時</li> <li>○今後の活動について検討</li> <li>○専門調査員による事前整理調査作業 <ul style="list-style-type: none"> <li>→地形図等の所在確認</li> <li>気象観測データの入手</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生態系分野の調査手法</li> <li>○詳細地形の把握</li> <li>○気象データ観測地点の選定</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市内各所の巡見</li> <li>○気象データ等の確認・整理</li> <li>○簡易地質調査</li> </ul>
第5部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>○専門調査員による事前整理調査作業 <ul style="list-style-type: none"> <li>→既存資料の整理</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○調査手法の検討</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○古地名の照合</li> <li>○聞き取り調査候補者リストの作成</li> </ul>
事務局	<ul style="list-style-type: none"> <li>○会議資料の作成</li> <li>○会議資料の事前説明</li> <li>○市史編さん委員会委員への就任依頼と委嘱手続き</li> <li>○各部会長との連絡調整</li> <li>○副部会長、部会員への就任依頼と委嘱手続き</li> <li>○「伸びゆくはむら」の発行</li> <li>○その他事務作業全般</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○羽村の歴史と文化に造詣の深い団体及び個人との円滑な連携</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○郷土博物館登録郷土研究員及び羽村郷土研究会と各部会との連携を図るための調整→懇談会の開催</li> <li>○各部会との連絡調整</li> <li>○郷土博物館との連携の充実</li> <li>○市役所各課との連絡調整</li> <li>○各部会の作業の進行管理</li> </ul>

平成27年4月以降の具体的な活動内容については、各部会と調整中

『羽村市史』の構成と内容（案）

	当初	第1回市史編さん委員会事務局提案	第2回市史編さん委員会事務局案	
本編	<p>通史編 3 卷</p> <p>①：「原始～近世」</p> <p>②：「近・現代」</p> <p>③：「自然・民俗」</p>	<p>本編 2 卷</p> <p>①：「自然・原始～近世」 (第1部会、第2部会、第4部会)</p> <p>②：「近代・現代・民俗」 (第3部会、第5部会)</p>	<p>2 卷</p> <p>①：「自然・原始～近世」</p> <p>②：「近代・現代・民俗」</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>&lt;対応資料編&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自然編 (第4部会)</li> <li>原始・古代編 (第1部会)</li> <li>中世編 (第1部会)</li> <li>近世編 (第2部会)</li> <li>近現代写真図録編 (第3部会)</li> <li>近現代資料編 (第3部会)</li> <li>民俗編 (第5部会)</li> </ul> </div>	<p>【仕様】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体裁…A5 判</li> <li>・印刷…モノクロ 上製本 箱入り</li> <li>・文章…原則縦書き 引用文等の場合の併用は○</li> <li>・紙質…上質紙系</li> <li>・ページ…今後の各部会の事情に応じる</li> </ul>
	<p>【変更点】</p> <p>☆呼称について、「通史編」にした場合、自然分野や民俗分野からすると違和感があることから、「本編」に変更した。</p> <p>☆自然分野と民俗分野で1巻を想定したが、全く違う分野が一冊に記述される違和感があるため、変更した。この際、自然分野に関しては、地形や気候などは、その土地に人々が生活する基礎的な条件、前提と理解できるため、歴史を書き起こす原始時代（縄文時代）の前に置くこととした。また、民俗については、近現代社会との関連が深く、近現代史との相互的補完関係にあるため、同じ巻にまとめることで利用者の利便を図ることができるので、同一巻とした。</p>			
資料編	<p>4 巻程度</p> <p>例えば</p> <p>①：「現代はむらの歩み（写真集）」（仮）</p> <p>②：「産業編」（仮）</p> <p>③：「文化・芸能・教育編」（仮）</p> <p>④：「考古・文化財編」（仮）</p>	<p>5 巻程度…各部会 1 巻の担当</p> <p>①：原始・古代・中世編（第1部会）</p> <p>②：近世編（第2部会）</p> <p>③：近代・現代編（第3部会）</p> <p>④：自然編（第4部会）</p> <p>⑤：民俗編（第5部会）</p>	<p>8 巻</p> <p>①：原始・古代編（第1部会）</p> <p>②：中世編（第1部会）</p> <p>③：近世編（第2部会）</p> <p>④：近現代写真図録編（第3部会）</p> <p>⑤：近現代資料編（第3部会）</p> <p>⑥：自然編（第4部会）</p> <p>⑦：民俗編（第5部会）</p> <p>⑧：社寺・文化財・人物編</p>	<p>【仕様】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・体裁…A4 判</li> <li>・印刷…カラー 無線とじ 並製本</li> <li>・文章…各部会の事情に応じて縦書き・横書き ただし、同じ巻内での併用は原則×</li> <li>引用文等の場合は○</li> <li>・紙質…コート紙系</li> <li>・ページ…各部会の事情に応じる</li> </ul>
	<p>【変更点】</p> <p>「当初」→「第1回市史編さん委員会事務局提案」</p> <p>☆当初の計画は、テーマ編的な資料編を想定していたが、各部会との協議・調整により、本編の記述内容の参考となる資料集の編さんが必要であるとの認識により、各部会それぞれが担当する資料編の構成を提案した。</p> <p>⇒本編の記述は、資料編に採録された資料に基づき記述されていくことになる。</p> <p>「第1回市史編さん委員会事務局提案」→「第2回市史編さん委員会事務局案」</p> <p>☆第1部会担当分野の場合、いわゆる「考古資料」の記述に関しては、原則的に横書きとなっているが、中世の「文字資料」を扱う場合には、原則として縦書きである。同じ巻内に横書きと縦書きが混在することになると、両側の表紙となり右開きと左開きとなってしまう。このため、もともと1巻で編集しようとした内容を2分冊とすることで利用者の便宜を図ることができる。</p> <p>☆市史編さんでは、各時代や分野での資料調査の後に、そこで集められ整理された資料のうち、どの資料を使って市史本編を記述していくかを判断し、その資料について資料編を刊行したのちに本編の刊行に至るという過程が一般的である。その中でも、近現代の写真図録集の刊行は、多くの市民に大きなインパクトを与えることができる。また、近現代の文字資料の刊行も非常に重要で必要な資料となる。このため、第3部会担当分野である近現代においても、文章の縦書き・横書きの問題解決を含めて、2分冊として刊行する。この形式は、『小平市史』や『相模原市史』の編さん事業でも取り入れられている。</p> <p>☆市内に所在する寺社や文化財については、羽村の歴史と文化の理解のために欠くことのできない重要な要素であるが、それを歴史のなかで記述しようとする、どの部会がどのような視点で記述していくのか、大きな課題が生じる。また、指田茂十郎、下田伊左衛門、中里介山、その他の人物についても、『西多摩村誌』、『羽村町史』にみられる「評伝的記述」「人物伝的記述」がなじむのかという課題がある。そのため、これらの分野に関する資料編については、事務局において各部会を調整し、羽村市教育委員会、羽村市郷土博物館、羽村市文化財保護審議会等の協力を得ながら、それらの資料と各部会で収集した資料とを融合させて、各時代の本編記述に繋げていくこととしたい。</p>			
ダイジェスト版	学校教材となるダイジェスト版を検討	学校教材となるダイジェスト版を検討	学習指導要領にマッチさせ、授業で活用できる内容で刊行	詳細は、今後、教育委員会等と協議・調整して決定

## 『羽村市史』刊行スケジュール（案）

	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
第 1 部会	資料調査		資料編②原稿執筆	資料編②刊行 資料編①原稿執筆	資料編①刊行	本編①原稿執筆	本編①刊行	
第 2 部会	資料調査			資料編③原稿執筆	資料編③刊行	本編①原稿執筆	本編①刊行	
第 4 部会	資料調査			資料編⑥原稿執筆	資料編⑥刊行	本編①原稿執筆	本編①刊行	
第 3 部会	資料調査		資料編④原稿執筆	資料編④刊行	資料編⑤原稿執筆	資料編⑤刊行	本編②原稿執筆	本編②刊行
第 5 部会	資料調査				資料編⑦原稿執筆	資料編⑦刊行	本編②原稿執筆	本編②刊行
事務局	全体準備	資料編⑧準備	資料編⑧原稿執筆調整	資料編⑧刊行手続き		ダイジェスト版内容検討		ダイジェスト版刊行
		連絡調整・進行管理						

## 【凡例】

本編①：自然・原始～近世（第 1 部会・第 2 部会・第 4 部会）

本編②：近代・現代・民俗（第 3 部会・第 5 部会）

資料編①：原始・古代編（第 1 部会）

資料編②：中世編（第 1 部会）

資料編③：近世編（第 2 部会）

資料編④：近現代写真図録編（第 3 部会）

資料編⑤：近現代資料編（第 3 部会）

資料編⑥：自然編（第 4 部会）

資料編⑦：民俗編（第 5 部会）

資料編⑧：社寺・文化財・人物編

羽村市史編さんだより

創刊  
準備号

# 伸びゆくはむら



## 「市史編さん室」がスタート

平成26年4月1日、企画総務部内に「市史編さん室」が発足しました。事務室は市役所西庁舎の3階にあります。市が市史編さん事業に着手するのは、「羽村町史」を発行してから40年ぶりのことです。

これから、市史編さん事業の経過や情報をお知らせする「市史編さんだより 伸びゆくはむら」を随時発行していきます。



▲市史編さん室の様子

### ● 戦後の歩みの記述を充実 ○

今回の市史編さん事業では、縄文時代から続く羽村の歴史や文化を再度振り返り、戦後の歩みを詳しく記述していきます。「羽村町史」編さん事業の過程で使用した資料、その後に蓄積されてきた資料や調査・研究の成果を十分に活用するとともに、地域に埋もれている未発見の資料を掘り起こし、それらの成果を総合的に取りまとめます。

### ● 平成26年4月以降のあゆみ ○

市史編さん室では、4月の開室以来、周辺自治体の市史編さん室に伺い、情報収集に努めてきました。また、編さん体制や計画などについて調査し、羽村市史としてどのようにしたらわかりやすく伝え残すことができるか研究してきました。

また、各専門分野の先生を訪ね、編さん体制を整え、市史編さん委員会開催に向けた準備を行ってきました。

## 市史編さんの体制

### ● 編さん体制の基本的な枠組み ○

組織の名称	内容
市史編さん本部	市史編さん事業の基本的な方向性を決定する組織
市史編さん委員会	『羽村市史』の構成や内容について意見交換し、監修する組織
市史編さん部会	『羽村市史』を編さんするために、調査や執筆を行う組織
市史編さん協力者	市史編さんの調査に協力していただける方 ・市の歴史や文化を伝えていただける方（調査対象者） ・個人の知見や経験、情報を提供していただける方（情報提供者）
市史編さん室	市史編さん事業の事務局として、事業を円滑に進める組織

## ● 5つに分かれた部会 ○

市史編さん部会は、担当する分野ごとに5つに分かれています。

第1部会は「原始・古代・中世」、第2部会は「近世」、第3部会は「近代・現代」、第4部会は「自然」、第5部会は「民俗」を担当します。



## 第1回羽村市史編さん委員会を開催しました

平成26年10月3日（金）市役所で、第1回羽村市史編さん委員会を開催しました。会議では、各委員の委嘱状交付・委員紹介から始まり、市史の編さんに関する基本的な考え方や進め方について説明しました。

市史の構成や刊行計画については、第2回羽村市史編さん委員会で意見を聴き、市史編さん本部で決定する予定です。会議録は、市史編さん室および羽村市公式サイトで公開しています。ぜひ、ご覧ください。



▲第1回羽村市史編さん委員会の様子



## 市史編さん委員会委員を紹介します

職名	氏名	選出区分	備考
委員長	浜田 弘明	学識経験者	第3部会長 桜美林大学教授
副委員長	島田哲一郎	羽村市教育委員会	教育委員会委員長
委員	深澤 靖幸	学識経験者	第1部会長 府中市郷土の森博物館学芸係長
	白井 哲哉		第2部会長 筑波大学教授
	白井 正明		第4部会長 首都大学東京准教授
	菊池 健策		第5部会長 都留文科大学非常勤講師
	白井 裕泰	羽村市文化財保護審議会	文化財保護審議会会長
	宮川 修	羽村市農業委員会	農業委員会会長
	増田 一仁	羽村市商工会	商工会会長
	伊藤 保久	羽村市町内会連合会	町内会連合会会長
顧問	櫻沢 一昭	—	前羽村市文化財保護審議会会長



## 市史編さん事業のこれから

ほかの部会に先がけ、第3部会の活動が10月にスタートしました。続いて第4部会が12月にスタートし、現在市内の調査・研究などを行っています。

平成27年2月2日（月） 第2回羽村市史編さん委員会開催

平成27年2月25日（水） 第5回羽村市史編さん本部会議開催

平成27年4月～ 第1・2・5部会調査・研究開始

※いずれも予定です。今後変更する場合があります。

※市の歴史や文化に関する情報がありましたら、市史編さん室までお寄せください。

※「編さん」は「編纂」とも表記されますが、「纂」が常用漢字ではないため、「編さん」と表記しています。